

地震による火災を防ぎましょう!!

最近、群馬県南部での地震（6月17日：震度5弱）や大阪府北部での地震（6月18日：震度6弱）など、全国各地で地震が相次いで発生しており、これに伴う火災も発生しています。

季節や時間帯、場所によって変動しますが、一般的に大きな地震が発生した場合、同時多発的に地震による火災、いわゆる【地震火災】が発生する傾向があります。

あなたの家は大丈夫？ 平時の今こそ、万一来に備えましょう！

地震の名称	発生日時 最大震度	地震火災 の件数	地震火災に よる犠牲者
阪神・淡路大震災	H 7. 1. 17 震度7	285 件	403 人
東日本大震災	H23. 3. 11 震度7	313 件	145 人
熊本地震（本震）	H28. 4. 16 震度7	16 件	1 人

特に地震発生直後や、電気・ガスが復旧した後にご注意ください。

■ 電気による火災を防ぐ

地震による火災原因の多くは電気機器によるものです。地震の揺れで電気機器が転倒、落下したり、家具などの下敷きになるなどで痛んだ配線から火災が起こります。

【例】・電気ストーブに可燃物が接触して出火 / 落下物が電気機器に当たり、電源スイッチが入って出火 / 倒れた家具でコードを損傷し、そこから出火



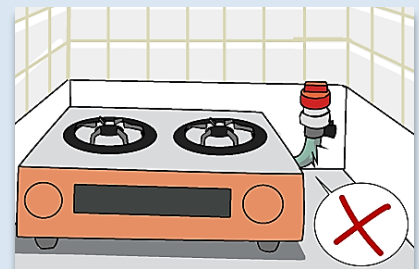
普段のポイント	地震後、避難する際のポイント	電気復旧後のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・電気器具は、転倒防止停電遮断機能がついたものを使用する。 ・家具に転倒防止措置を行う。 ・感震ブレーカーを使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気ブレーカーを落とす。 ・可能であればコンセントを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気機器のコンセントを抜いてから、ブレーカーを入れる。 ・周囲と電気機器の安全を確認してから使用する。

■ ガスによる火災を防ぐ

過去の地震では、ガス設備の損傷による火災も発生しています。ガス漏れに注意し、地震後は安全が確認されてから使用しましょう。

地震後からガス復旧後のポイント

- ・地震後は、ガスの元栓を閉める。
- ・安全が確認されてから使用する。
- ・ガス漏れやガスの臭いがしている場合は、すぐに使用を止め、ガス事業者の指示に従う。



福岡市消防局
マスコットキャラクター
ファイ太くん

【問い合わせ先】

福岡市消防局予防部予防課 担当：大森・宮崎・中富 電話：092-725-6672